



月報だよりの原稿は毎月 20 日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込みください。

e-mail で toukou@geppou.asj.or.jp 宛。

なお、原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 までお送りください。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

国立天文台岡山天体物理観測所研究員 (プロジェクト枠)

1. 研究員 1 名
2. (1) 岡山天体物理観測所
(2) 岡山県浅口市（公共交通機関による通勤手段はありません）
3. 天文学、特に観測天文学
4. 国立天文台岡山天体物理観測所では、188 cm 反射望遠鏡による共同利用観測を推進しています。また、岡山 3.8 m 新技術光学赤外線望遠鏡（以下、岡山 3.8 m 望遠鏡）計画を京都大学、名古屋大学、(株)ナノオプトニクス・エナジーとの協力により推進しています。さらに、国内の大学との協力ならびにアジア地域における国際協力を積極的に推し進めています。今回、岡山天体物理観測所に所属し、これら観測所業務に意欲的に関わると同時に、自身の研究も進めていける研究員を募集します。観測所業務の主たる分担内容は、計算機管理を含む 188 cm 望遠鏡による共同利用の推進、岡山 3.8 m 望遠鏡計画の推進、岡山天体物理観測所に関する広報・普及活動、各種研究会やユーザーズミーティングの世話人などです。
5. (1) 平成 23 年 9 月 1 日を予定。
(2) 原則として着任日より 3 年間で、年度ごとに業績評価を受け契約を更新していただくこととなります。ただし、平成 17 年 4 月 1 日以降、すでに国立天文台研究員として勤務した期間がある場合、通算勤務期間が 5 年を超え

ないように設定されます。また、任期満了時、審査のうえ 1 回に限り、再任が可能です。再任後の任期は半年以上 2 年以下です。ただし、前述の通算勤務期間 5 年の上限が同様に適用されます。

6. 博士の学位を取得した方、または、平成 23 年 8 月 31 日までに取得見込みの方、もしくはそれと同等以上の方。なお、平成 23 年 8 月 31 日までに取得見込みの方は、その旨を記載のこと。
7. (1) 履歴書（書式は自由。現在の e-mail アドレスを必ず記入し、写真を添付のこと）、(2) 研究歴（これまでの研究内容の概要を含む）、(3) 研究論文リスト（査読論文とそれを区別すること、共著の場合は全著者名を記すこと）、(4) 主要論文の写し（3 編以内、各 1 部、コピーで構いません）、(5) 研究計画書、(6) 本人について意見を述べられる方 2 人の氏名と連絡先、(7) 推薦書（ある場合のみ添付）
8. 平成 23 年 7 月 29 日（金）17 時必着
9. (1) 〒719-0232 岡山県浅口市鴨方町本庄 3037-5
国立天文台 岡山天体物理観測所長
泉浦秀行
(2) 同上
Tel: 0865-44-2155
e-mail: izumiura@oao.nao.ac.jp
10. 封筒の表に「国立天文台研究員（岡山天体物理観測所）応募書類在中」と朱書きし、郵送の場合は簡易書留で送付のこと。電子メールでの送付は受け付けません。応募書類は原則返却しません。
11. 短時間契約職員として採用され、大学助教相当の時間単価（期末手当等含む）で週 30 時間の給与および交通費が支給されます。なお、勤務時間の半分までは、プロジェクト長と相談のうえで、本プロジェクトの業務を行う義務があります。健康保険は社会保険、年金は厚生年金に加入となります。岡山天体物理観測所内に設置した選考委員会により選考されます。選考にあたって面接を行う場合があります。面接に要する費用（交通費等）は自己負担とします。

国立天文台岡山天体物理観測所研究員 (科学研究費補助金)

1. 研究員 1 名
2. (1) 岡山天体物理観測所
(2) 岡山県浅口市 (公共交通機関による通勤手段はありません)
3. 天文学, 特に観測天文学
4. 国立天文台岡山天体物理観測所では, 平成 23 年度から科学研究費補助金・基盤研究 (A) 「太陽系外惑星系探索の自動化」(研究代表者泉浦秀行, 課題番号 23244038) を受け, 太陽系外惑星系探索の国内拠点かつアジア地域の拠点として, 機能強化を目指しています. 本研究員には, 研究代表者と協力して 188 cm 望遠鏡の自動化推進に取り組んでいただきます. さらに, 惑星系探索を軸に, 自身の天文学研究をも発展させていただきます.
5. (1) 平成 23 年 9 月 1 日を予定.
(2) 平成 26 年 3 月 31 日まで. ただし, 年度ごとに業績評価を受け契約を更新していただくこととなります. また, 平成 17 年 4 月 1 日以降, 既に国立天文台研究員として勤務した期間がある場合は, 通算勤務期間が 5 年を超えないように設定されます. 再任はありません.
6. 博士の学位を取得した方, または, 平成 23 年 8 月 31 日までに取得見込みの方, もしくはそれと同等以上の方. なお, 平成 23 年 8 月 31 日までに取得見込みの方は, その旨を記載のこと.
7. (1) 履歴書 (書式は自由. 現在の e-mail アドレスを必ず記入し, 写真を添付のこと), (2) 研究歴 (これまでの研究内容の概要を含む), (3) 研究論文リスト (査読論文とそれを区別し, 共著の場合は全著者名を明記のこと), (4) 主要論文の写し (3 編以内, 各 1 部, コピーで構いません), (5) 研究計画書, (6) 本人について意見を述べられる方 2 人の氏名と連絡先, (7) 推薦書 (ある場合のみ添付)
8. 平成 23 年 7 月 29 日 (金) 17 時必着
9. (1) 〒719-0232 岡山県浅口市鴨方町本庄 3037-5
国立天文台 岡山天体物理観測所長
泉浦秀行
(2) 同上
Tel: 0865-44-2155
e-mail: izumiura@oao.nao.ac.jp

10. 封筒の表に「岡山天体物理観測所研究員 (科研基盤 A) 応募書類在中」と朱書きし, 郵送の場合は簡易書留で送付のこと. 電子メールでの送付は受け付けません. 応募書類は原則返却しません.
11. 短時間契約職員として採用され, 大学助教相当の時間単価 (期末手当等も含む) で週 30 時間の給与および交通費が支給されます. なお, 勤務時間の半分までは, 研究代表者と相談のうえで, 本研究課題遂行に関わる業務を行う義務があります. 残りの時間をその他の科研費の目的に合致する研究に当てることができます. 健康保険は社会保険, 年金は厚生年金に加入となります. 岡山天体物理観測所内に設置した選考委員会により選考されます. 選考にあたって面接を行う場合があります. 面接に要する費用 (交通費等) は自己負担とします.

国立天文台岡山天体物理観測所研究支援員

1. 研究支援員 1 名
2. (1) 岡山天体物理観測所
(2) 岡山県浅口市 (公共交通機関による通勤手段はありません)
3. 天文学, 特に観測天文学
4. 国立天文台岡山天体物理観測所では, 188 cm 反射望遠鏡による共同利用観測を推進しています. また, 岡山 3.8 m 新技術光学赤外線望遠鏡 (以下, 岡山 3.8 m 望遠鏡) 計画を京都大学, 名古屋大学, (株) ナノオプトニクス・エナジーとの協力により推進しています. さらに, 国内の大学との協力ならびにアジア地域における国際協力を積極的に押し進めています. 今回これらの活動を積極的に分担してくださる研究支援員を募集します. 今回の研究支援員は, 岡山天体物理観測所の 188 cm 反射望遠鏡による共同利用観測の推進に関わる業務全般に従事します. その中には, 観測装置の運用, 観測所内の計算機管理, データストレージ管理が含まれます. そして, 観測所に関する広報・普及活動, 各種研究会やユーザーズミーティングの世話人なども分担します.
5. (1) 平成 23 年 9 月 1 日を予定.
(2) 年度ごとに業績評価を受け契約を更新. 更新は 2 回 (ただし 4 回までは, つまり任期を平成 28 年 3 月末日までは, 延長する可能性あり).
6. 理工学系の修士の学位を取得した方, または平成 23 年 8 月 31 日までに取得見込みの方, もしくはそれと同等以上の能力を有する方. なお, 平成 23

年8月31日までに取得見込みの方は、その旨を記載のこと。業務についてのトレーニングを行いますので、特に光学・赤外線天文学を専門にされている必要はありません。

7. (1) 履歴書（現在のe-mailアドレスを必ず記入し、写真を添付のこと）、(2) 研究歴（A4用紙2枚程度で簡潔にまとめたもの、これまでの研究内容の概要を含む）、
8. 平成23年7月29日（金）（郵送の場合、同日の消印まで有効）
9. (1) 〒719-0232 岡山県浅口市鴨方町本庄 3037-5
国立天文台 岡山天体物理観測所長
泉浦秀行
(2) 問合せ先：同上
Tel: 0865-44-2155
E-mail: izumiura@oao.nao.ac.jp
10. 封筒の表に「岡山天体物理観測所研究支援員応募書類在中」と朱書きし、郵送の場合は簡易書留で送付すること。電子メールでの送付は受け付けません。応募書類は原則返却しません。
11. 短時間契約職員として採用され、週30時間の給与および交通費が支給されます。なお、原則的に勤務時間のすべてを業務にあてる職です。給与等の待遇の詳細についてはお問い合わせください。採用は国立天文台幹事会議により決定されます。選考にあたり面接を行う場合があります。面接に要する費用（交通費等）は自己負担とします。

京都大学大学院理学研究科物理学・ 宇宙物理学専攻・助教

1. 助教1名
2. (1) 物理学第二教室・宇宙線研究室
3. X線天文学（実験）
4. 飛翔体を用いた高エネルギー天体の観測的研究、
ならびに宇宙X線検出技術の開発研究
5. (1) 決定後早期
(2) なし
7. ○履歴書（顔写真、e-mail、着任可能時期を明記）
○研究業績リスト ○主要論文別刷3編以内（コピー可、各2部）
○研究業績概要 ○着任後の研究計画
○推薦書または意見書
8. 2011年9月16日（金）必着
9. (1) 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学大学院理学研究科物理学・宇宙物理学専攻・物理学第二教室主任 中家 剛
(2) 同専攻・物理学第二教室 鶴 剛

Tel: 075-753-3868

e-mail: tsuru@cr.scphys.kyoto-u.ac.jp

10. 封筒に「宇宙線研究室助教応募書類（または推薦書、意見書）」と朱書き簡易書留で送付。応募書類は原則として返却しません。

研究助成

女性科学者に明るい未来をの会 2012年度第32回猿橋賞の募集

女性科学者に明るい未来をの会
会長 米沢富美子

女性科学者に明るい未来をの会は、「女性科学者のおかれている状況の暗さの中に、一条の光を投げ、いくらかでも彼女らを励まし、自然科学の発展に貢献できるように支援する（創立の趣旨より）」という願いを込め、1980年に創立されました。当会は、これまで自然科学の分野で、優れた研究業績を収めている女性科学者に、毎年、賞（猿橋賞）を贈呈してまいりました。第32回猿橋賞の募集を開始します。

記

- 1) 対象：推薦締切日に50歳未満で、自然科学の分野で、「創立の主旨に沿った」優れた研究業績を収めている女性科学者
- 2) 表彰内容：賞状、副賞として賞金30万円、1件（1名）
- 3) 応募方法：当会のホームページ <http://www.sarubashi.net/> から推薦書類をダウンロードし、A4用紙に印刷して、①推薦者（個人・団体、自薦も可）・受賞候補者の略歴・推薦対象となる研究題目②推薦理由（800字程度）、および③研究題目に関連する主な業績リスト（指定は1頁です。やむをえない場合でも追加は1頁までです）を記入して、主な論文別刷5編程度（2部ずつ、コピーも可）を添え、5)の推薦書類送付先までお送りください。
- 4) 締切日：2011年11月30日（必着）
- 5) 推薦書類送付先：

〒247-0022 横浜市栄区戸戸5-14-3

女性科学者に明るい未来をの会

（封筒には、「猿橋賞推薦書類」と明記してください。書類は、猿橋賞選考のためにのみ選考委員会などで用いられます。書類は返却いたしませんのでご了承

ください) 今後、募集要項に変更がある場合は、ホームページに掲載いたしますので、応募の際はホームページをご確認ください。

「女性科学者に明るく未来をの会事務局」
saruhashi2012@saruhashi.net

2011 年度「朝日賞」候補者の推薦について

朝日新聞文化財団より標記の依頼がきております。下記 URL よりダウンロードできます。キーワードは日本天文学会事務所 (Tel: 0422-31-1359) までお問い合わせください。

1. 候補者の対象: 人文や自然科学など、わが国のさまざまな分野で傑出した業績を上げ、文化・社会の発展向上に多大な貢献をされた個人または団体。
2. 締 切: 2011 年 8 月 10 日 (水) 日本天文学会必着
3. 発 表: 2012 年元旦の朝日新聞紙上

問合せ: 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

朝日新聞社事業本部メセナ・スポーツ部
「朝日賞」事務局

Tel: 03-5540-7453 Fax: 03-3541-8999

URL: <http://www.asahi.com/shimbun/award/asahi/suisen>

研究会・集会案内

国立天文台野辺山観測所特別公開のお知らせ

自然科学研究機構 国立天文台
野辺山宇宙電波観測所
野辺山太陽電波観測所

国立天文台野辺山観測所では、日頃行われている天体観測の様子や、最新の天文学研究の成果をより広く知っていただくため、下記の要領で観測所施設の特別公開を行います。暑い季節ですが、涼しい野辺山高原でみなさまのご来場をお待ちしています。

記

日 時: 2011 年 8 月 20 日 (土) 9:30~16:00

(入場は 15:30 までです)

場 所: 国立天文台野辺山

展示・見学: 通常の見学コースに加えて、45メートル電波望遠鏡や電波ヘリオグラフの各観測室などを見学できます。また、宇宙・太陽からやってくる電波をとらえる観測装置の仕組みや最新の研究成果を実験と展示で解説します。スタンプラリーや質問

コーナーなどもあります。

講演会等: ☆特別講演会 11:00~12:00

「はやぶさ」と ALMA でさぐる太陽系のはじまり

阪本成一 (宇宙航空研究開発機構 JAXA)

☆ミニ講演会 12:30~13:00

太陽系外惑星の不思議

眞山 聡 (総合研究大学院大学)

☆特別ライブ 14:00~15:00

「星空の詩 2011 in Nobeyama~星の歌に祈りを乗せて~」

清田愛未 (シンガーソングライター)

牛山俊男 (自然写真家)

交 通: 《鉄道》JR 小海線野辺山駅下車 徒歩 30 分 (野辺山駅から無料シャトルバス運行)

《自動車》東京・名古屋方面から: 中央自動車道 長坂インターから清里高原道路を経て約 20 km.

または、中央自動車道 須玉インターから国道 141 号線を白田・佐久方面へ約 30 km.

群馬方面から: 上信越自動車道 佐久インターから国道 141 号線を白田・清里方面へ約 50 km.

ご 注 意: 入場無料・雨天決行。スリッパを各自ご持参ください。

講演会等は会場の関係で定員は 200 名様になります。特別講演会、特別ライブについては整理券を当日講演時間の 1 時間前に配布する予定です。なおミニ講演会については整理券を配布しない予定です。天文台内では食事の提供・販売はいたしませんので、ご了承ください。

天文台入口駐車場は大型バス・障害者専用となります。その他の自動車の方は、旧野辺山スキー場の駐車場を利用していただく予定です。スキー場から観測所まで無料シャトルバスを運行します。当日は会場準備の都合上、一般公開は実施せず、9:30 から 16:00 のみの開場となります。

そ の 他: 諸事情により、中止になる場合もあり得ます。

問い合わせ先: 国立天文台 野辺山

〒384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山 462-2

Tel: 0267-98-4300 (代表)

URL: <http://www.nro.nao.ac.jp> (詳細は随時インターネットホームページでお知らせしますのでご参照ください)

国立天文台岡山天体物理観測所・岡山天文博物館特別公開 2011 のご案内

日 時: 2011年8月27日 土曜日 9:30~16:30
(雨天決行)

場 所: 岡山県浅口市鴨方町本庄 国立天文台
岡山天体物理観測所
岡山天文博物館

共 催: 浅口市教育委員会
後 援: 矢掛町教育委員会

内 容: 岡山天体物理観測所では
特別講演「天文学最前線」
12:30 から 13:30
講師 観山正見 (国立天文台 台長)
188 cm 反射鏡見学
11:15 から, 14:30 からの 2 回など
岡山天文博物館では
プラネタリウム投映
9:30 から 16:00 30 間毎
天体・星座ビンゴゲーム
10:30 から, 13:00 から, 15:30 から, の 3 回など

入 場 料: 無料

駐 車 場: 普通車約 30 台駐車可 (当日は混雑が予想されます)

無料シャトルバス: JR 鴨方駅前⇔浅口市中央公民館北側⇔観測所, で運行します。
なお, 浅口市中央公民館北側 (浅口市衣草公園) には無料駐車場があります。
詳しい内容, 各イベントの開始時刻, シャトルバスの出発時刻は観測所ホームページをご覧ください。

問 合 せ: 自然科学研究機構 国立天文台
岡山天体物理観測所
〒719-0232 岡山県浅口市鴨方町本庄 3037-5
Tel: 0865-44-2155 [代表]
(平日の 10:30~17:00)
Fax: 0865-44-2360
URL: <http://www.oao.nao.ac.jp/>

第 7 回最新の天文学の普及をめざす ワークショップ —電波天文学最前線—

〈参加者募集〉

国立天文台天文情報センターは, 現在行われている天文学研究最前線の様子を広く社会に伝えるため天文学普及のためのワークショップを開催いたします。

日 時: 2011年11月06日 (日) 13:00~8日 (火) 15:00

場 所: 自然科学研究機構 国立天文台 講義室
〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
Tel: 0422-34-3600

対 象: プラネタリウム・公開天文台・科学館職員・学校等の職員で天文学の普及に関わっている方および科学コミュニケーターや科学教育普及に興味を持つ学生

募集予定定員: 40 名

参 加 費: 無料, ただし食費, 懇親会費等の実費を納めていただきます。

宿 泊: 各自で確保精算をお願いします。(参; ホテルメッツ武蔵境, シティテル武蔵境, ホテルノービス調布, ホテルリソル調布, 調布クレストンホテル)

応募方法: 希望者は氏名, 連絡先, e-mail アドレス, 所属を明記して, レポート「電波天文学最前線 WS への期待」(A4, 1 ページ程度) を添付して 9 月 25 日までに下記宛先へお送りください。参加者選考結果は 10 月 5 日に本人あて通知します。

応募締切: 2010年9月25日 (土)

応 募 先: 郵送またはメール

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台天文情報センター「最新の天文学の普及をめざすワークショップ」係

e-mail: shoichi.itoh@nao.ac.jp

主 催: 自然科学研究機構 国立天文台

共催 (予定): 日本プラネタリウム協議会, 日本公開天文台協会, 天文教育普及研究会

後援 (予定): 日本天文学会,

ワークショップの目標: (1) 最近の電波天文学研究の成果をプラネタリウム, 公開天文台, 科学館あるいは学校などの教育で活用してもらうため

(2) 電波天文学を理解するためのフレームワーク作りのため

(3) 研究者ならびに関係者とのコラボレーションのため

主な内容(予定): ○電波天文の基礎 ○電波で見る宇宙
 1. 星・惑星系形成 ○電波で見る宇宙
 2. 星間化学 ○電波で見る宇宙
 3. 系外銀河, AGN 等 ○電波で見る宇宙
 4. 高赤方偏移領域, 銀河形成 ○日本/世界の電波望遠鏡 ○ALMA の現状 ○ALMA の目指すサイエンス ○単一鏡(野辺山, ASTE, NANTEN?) でのサイエンス ○VLBI でのサイエンス ○科学館における電波天文学普及活動の実際

問い合わせ先: 〒181-8588 三鷹市大沢 2-21-1
 自然科学研究機構国立天文台
 天文情報センター 伊東昌市
 Tel: 0422-34-3571 Fax: 0422-34-3810
 E-mail: shoichi.ito@nao.ac.jp

会務案内

第19期評議員候補者選挙結果報告

任期2012年1月1日より2015年12月31日の評議員選挙を、定款および評議員選挙施行細則に従って2011年5月20日～6月20日を投票期間として行いました。2011年6月21日に開票作業を行い、以下の結果を得ましたので報告いたします。

有権者数: 1,703名
 投票総数: 1,456票(208通)
 有効投票数: 1,215票
 無効票: 12票
 白票: 229票

当選した評議員候補者(敬称略) *は現評議員

当選	杉山直*	47票
当選	家正則*	46票
当選	佐藤勝彦*	46票
当選	観山正見*	38票
当選	池内了*	38票
当選	林隆之	33票
当選	市川幸平	32票
	山田亨*	28票
	谷口義明*	28票
	望月優子*	27票
当選	林正彦	25票
当選	柴田一成	17票
当選	犬塚修一郎	16票
	中川貴雄	16票

以下略

評議員選挙施行細則の第6条に「最下位当選者に該当する者が複数の場合は、選挙管理委員会が抽選で順位を定める。」とありますので、選挙管理委員会の抽選で犬塚修一郎氏の当選となりました。

選挙管理委員会 委員長 末松芳法

(社)日本天文学会へ2011年2月16日～2011年6月17日に入会された方、移籍された方、退会された方をお知らせします。

正会員入会(62名)

浅野健太郎 東京大・大学院理(在学)
 中野多恵 九州工業大・理数教育支援センター
 松村真司 慶應義塾大・大学院理工(在学)
 森田太智 大阪大・レーザーエネルギー学研究センター(在学)
 志村勇樹 東京大・大学院理/国立天文台(在学)
 西川綾乃 慶應義塾大・大学院理工(在学)
 中島亜紗美 東京大・大学院理/国立天文台(在学)
 寺部佑基 筑波大・大学院数理物質科学(在学)
 齋藤浩太 筑波大・大学院数理物質科学(在学)
 小屋松進 東京大・大学院理(在学)
 勝田隼一郎 KIPAC/SLAC
 西田瑛量 東京大・大学院理(在学)

山口健太郎 東京大・大学院理(在学)
 田中亜矢子 鹿児島大・大学院理工(在学)
SALAK DRAGAN 筑波大・大学院数理物質科学(在学)
 岩井彩 神戸大・大学院理(在学)
 小澤武揚 明星大・大学院理工(在学)
 津田裕也 明星大・大学院理工(在学)
 林田将明 **Stanford University**
 井口尚人 神戸大・大学院理(在学)
 鎌田良知 くじら病院
 飯島陽久 東京大・大学院理(在学)
 金子健太 工学院大・大学院工(在学)
 池田翔馬 工学院大・大学院工(在学)
 梅井迪子 北海道大・大学院理(在学)

出口真輔	熊本大・大学院自然科学（在学）	仲内大翼	京都大・大学院理（在学）
黒島利沙	東北大・大学院理（在学）	河島久美子	京都大・大学院理（在学）
薄井竜一	東京工業大・大学院理工（在学）	高橋実道	京都大・大学院理（在学）
松村知岳	素粒子原子核研究所	清水貴治	東京大・大学院理（在学）
榎谷玲依	名古屋大・大学院理（在学）	青木邦哉	東京大・大学院理/国立天文台（在学）
上田周太郎	大阪大・大学院理（在学）	森原良行	金沢大・大学院自然科学（在学）
橋詰克也	総研大・物理学（在学）	中込圭佑	東京学芸大・大学院教育（在学）
土井畑幸一郎	筑波大・大学院数理物質科学（在学）	野口 亮	大阪教育大・大学院教育（在学）
今田大皓	筑波大・大学院数理物質科学（在学）	海田亮平	宮崎大（在学）
唐津謙一	国立天文台	山田真広	神戸大・大学院理（在学）
小林仁美	京都産業大・大学院理（在学）	深町大介	神戸大・大学院理（在学）
齋藤 悠	茨城大・大学院理工（在学）	吉池智史	名古屋大・大学院理（在学）
栗橋 潤	茨城大・大学院理工（在学）	栗津友哉	大阪府立大・大学院理（在学）
滝沢美里	茨城大・大学院理工（在学）	橋詰章雄	大阪府立大・大学院理（在学）
高橋宏明	大阪大・大学院理（在学）	小島義晴	大阪府立大・大学院理（在学）
林 航平	東北大・大学院理（在学）	太田裕也	大阪府立大・大学院理（在学）
石本 毅	立命館大・大学院理工（在学）	古家野 誠	大阪府立大・大学院理（在学）
八橋大輔	立命館大・大学院理工（在学）	近廣祐一	大阪府立大・大学院理（在学）
森 勇輝	立命館大・大学院理工（在学）		

準会員入会（15名）

鹿島伸悟	カピバラ光学研究所	赤沼直伸	長野県長野市在住
エスバダ ダニエル	国立天文台	関口雄一郎	京都大・基礎物理学研究所
山中宏夫	和歌山県田辺市在住	北村唯子	広島大・大学院理（在学）
小山知人	堺市立平井中学	高橋玲央奈	早稲田大（在学）
一言沙稚子	桜美林大（在学）	佐藤久之	広島大・大学院理（在学）
林 数馬	広島大・大学院理（在学）	宇井崇紘	広島大・大学院理（在学）
佐々木 亨	東京理科大・大学院理（在学）	木村太輔	広島大・大学院理（在学）
中村尚樹	京都大・大学院理（在学）		

移籍会員

[準→正]	(0名)
[正→準]	(1名) 野村 勉

正会員退会（11名）

浅野栄治	伊藤大晃	高窪啓弥	若生康二郎	矢作日出樹	浦口史寛	Dawson Joanne Ruth
香西克紀	齋藤悦子	上田航平	車 信一郎			

準会員退会（6名）

鯨目信三	中野 繁	長谷川光紀	森田 剛	福原将之	片山雄太
------	------	-------	------	------	------

